

行事名	先端科学技術講演会																		
担当部門・機関	先進科学教育部門（取組担当：岡山県・村上 啓之）																		
開催日時・期間	平成 22 年 2 月 22 日(土) 13 時 30 分～16 時 00 分	会場	岡山市北区下石井2-6-41 ピュアリティまきび																
<p>《概要》</p> <p>連携機関の学生・教員及び一般県民に最先端の科学技術に触れる機会を提供し、科学技術への理解を深めることを目的に、2008年のノーベル物理学賞を受賞された小林誠・益川敏英両先生の理論の検証に決定的な役割を果たした研究装置「加速器」をキーワードに、日本を代表する2人の研究者を招いて講演会を開催した。</p>																			
<p>《参加者》</p> <p>参加者の内訳： 参加者数 79名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">岡山大学</td> <td style="text-align: right;">3名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">倉敷芸術科学大学</td> <td style="text-align: right;">4名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">津山工業高等専門学校</td> <td style="text-align: right;">2名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">岡山県</td> <td style="text-align: right;">6名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">岡山光量子科学研究所</td> <td style="text-align: right;">8名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">高校生</td> <td style="text-align: right;">17名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">高校教員</td> <td style="text-align: right;">5名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">34名</td> </tr> </table>				岡山大学	3名	倉敷芸術科学大学	4名	津山工業高等専門学校	2名	岡山県	6名	岡山光量子科学研究所	8名	高校生	17名	高校教員	5名	その他	34名
岡山大学	3名																		
倉敷芸術科学大学	4名																		
津山工業高等専門学校	2名																		
岡山県	6名																		
岡山光量子科学研究所	8名																		
高校生	17名																		
高校教員	5名																		
その他	34名																		
<p>《報告事項》</p> <p>1 プログラム</p> <p>(1) 講演会のテーマ ～素粒子原子核物理学の歩みと加速器～</p> <p>(2) 講演</p> <p>①「素粒子物理学の歩み～仁科博士から小林・益川理論まで～」 高エネルギー加速器研究機構 理事 高崎史彦 氏</p> <p>②「原子核とその応用研究の歩み～仁科博士から理研 RI ビームファクトリーへ～」 理化学研究所 和光研究所 仁科加速器研究センター 特別顧問 矢野安重 氏</p> <p>講演①</p> <p>高エネルギー加速器研究機構の先端加速器「Bファクトリー」を用いて、小林・益川理論の検証実験に取り組み高崎先生に、素粒子物理学の歩みと其中での加速器の役割、加速器技術の進展について講演していただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素粒子物理学の歩み ・「日本の現代物理学の父」仁科芳雄博士の業績・・・素粒子物理学の研究、世界で二番目の加速器（サイクロトロン）建設 ・現代の加速器技術・・・「Bファクトリー」による研究、国際リニアコライダー設計計画 																			

講演②

理化学研究所の先端加速器「R I ビームファクトリー」を用いて、原子核同士を高速で衝突させ、未知の元素の発見や品種改良等の応用技術の開発に取り組んでおられる矢野先生に、原子核物理学や研究内容について講演していただいた。

- ・原子核物理学について
- ・理化学研究所における仁科博士の研究と活躍
- ・重イオン加速器「R I ビームファクトリー」による研究 中性子の数が変わる？
- ・イオンビーム技術の応用・・・重イオンビーム育種法
- ・未来のエネルギーの可能性



講演①



講演②

2 アンケート結果

アンケート回収数	55名
----------	-----

小・中学生	0名	0.0%
高校生	17名	30.9%
大学生	3名	5.5%
一般	35名	63.6%
未回答	0名	0.0%

○講演についてご感想をご記入ください。

1	大変よかった	27名	49.1%
2	おおむね充実して良かった	22名	40.0%
3	普通	2名	3.6%
4	やや物足りなかった	1名	1.8%
5	あまり得るところがなかった	0名	0.0%
6	未回答	3名	5.5%

【感想】

- ・理論だけでなく、時代背景等を交えて話していただいたので、大変わかりやすかったです。
- ・先端技術について簡単な説明でとてもよくわかった。
- ・難しい用語の多さに、自分の浅学さを感じた。
- ・この分野への興味が非常に増した気分です。
- ・内容が難しかったがわかりやすかった。工学関係につながる話がありよかった。
- ・専門の方々にとっては易しすぎたかもしれませんが、高校生や専門外の私たちにはわかりやすく理解できるレベルの話で、とてもよかったと思います。
- ・RI ビームのことがよくわかりました。
- ・わかりやすく素粒子物理の流れを説明いただき全体像を握ることができました。RI ビームファクトリーのお話しはとてもエキサイティングでした。
- ・一般向けの講演としてはよかったのでは。
- ・歴史的な重要性を平易に説明していただき、また人類の希望を熱く語っていただき、感動しました。(私の出るところはありませんが…) 基礎的研究から実用的な利用まで大変興味深かった。
- ・二つの講演はどちらも一般の我々にもわかりやすいものでした。
- ・交通の便があまりよくないため、個人的に参加するのはなかなか難しい。
- ・対象としてどこをターゲットにしているのかよくわからない。
- ・先端科学技術の現状だけでなく、その将来性についても述べてもらいたい。